用語集

P.53 Declinism

衰退主義、社会や機関が衰退に向かう傾向にあるという概念。

P.53.liberal-humanist

自由主義者、自由主義は個人の諸自由を尊重し，封建的共同体の束縛から解放しようとした思想や運動をいう。本格的に開始されたのはルネサンスと宗教改革によって幕をあけた近代生産社会においてであり，宗教改革にみられるように，個人の内面的自由 (信教の自由，良心の自由，思想の自由) を，国家，政府，カトリック，共同体などの自己以外の外在的権威の束縛，圧迫，強制などの侵害から守ろうとしたことから起った。

P.53 Racist

人種差別主義者

P.53 New right

新右翼とは、第二次世界大戦以後における右翼のひとつのありよう。 既成の右翼団体の在り様を否定して、自ら新たな存在たらんとする右翼のこと。 明確な定義はないが、反共主義・親米・権威主義・国家主義的な要素が強い既製右翼より、反戦後民主主義・反体制・民族主義的な要素を多く持っている。

P.55 the Oxbridge model

オックスブリッジとはオックスフォード大学とケンブリッジ大学２つを掛け合わせた言葉であり、オックスブリッジモデルでの教育形態を自由主義者が重要視している。

P.55 11∔examination

11∔examinationは、イングランドと北アイルランドで一部の小学生に対して、彼らの最後の年に課される試験であり、中学の入学に様々な影響を与える。

P.60 National curriculum

イギリスでは，1988年教育改革法で，教育課程の国家基準として，ナショナルカリキュラムが導入された。教育水準の向上，達成目標，達成度評価の基本的な枠組みである。

P.60 Thatcherism

イギリス経済再生のため，マーガレット・サッチャー首相（在任 1979～90）が打ち出した社会・経済政策の総称。 小さな政府を追求し，国有企業の民営化，金融・証券改革など，政府規制の緩和，労働活動の制限などを推し進めてイギリス病から国を立ち直らせた

P.60 LEAs

普通，地方教育当局と訳され，イギリスの地方教育行政担当機関のこと。 1902年の教育法により，1870年の初等教育法によって設けられた学校区と学校委員会を廃止し，代りに一般行政区の参事会を同時に地方教育当局とし，管轄区内の必要に応じて初等，中等，継続教育の施設を整備する義務を負わせ，視学官に視察させることになった。

P.60 Marketization

共産圏の自由主義市場経済への移行

P.60 SAT

大学進学適正テストであり、7.11.14歳の生徒に課せられる能力診断テスト

P.61 Fordism

フォーディズムとは、大量生産、大量消費を可能にした生産システムのモデルである。 現代の資本主義の象徴の一つであり、社会学や経済地理学、レギュラシオン理論などで言及される。 イタリアの思想家、アントニオ・グラムシの命名による。 また、フォード社の経営理念を指すこともある。

Neo Fordism

ネオフォーディズム、フォーディズムが危機に陥った1970年代以降、これに変わる新しい発展様式が世界各国で模索されている時代・様相のこと。

Post Fordism

ポストフォーディズムは、工場や事務所などで雇用されている賃労働者だけでなく、社会全体を剰余価値生産に総動員させる体制のことである。

P.68 Glorious Revolution

1688年から1689年にかけて、ステュアート朝のイングランド王ジェームズ2世（スコットランド王としてはジェームズ7世）が王位から追放され、ジェームズ2世の娘メアリー2世とその夫でオランダ総督ウィリアム3世がイングランド王位に即位したクーデター事件である。これにより「権利の章典」が発布された。